

平成 29 年 12 月 19 日 (火)

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担 当：山内、仁平

電 話：098-866-2215

## つつが虫病の発生について

宮古保健所管内において、平成 29 年 11 月 21 日～12 月 14 日の間にダニ媒介感染症である「つつが虫病」の患者が 3 例診断されたことから、医療機関及び広く県民への注意喚起のため、情報提供を行います。

ダニ媒介感染症である「つつが虫病」は、県内では平成 20 年以降、宮古保健所管内でほぼ毎年患者が発生しています。これまでの発生時期は 4～7 月及び 9～12 月であり、平成 29 年は 12 月 18 日時点で 5 名の患者が報告されています。また、これまで発生した 26 例中 24 例において、発症 5～14 日前の池間島での行動歴が確認されています。

つつが虫病は、一般に予後良好ですが、治療が遅れると死亡率が高くなる感染症です。国内においても平成 19～28 年に発生した患者のうち、約 0.5%が亡くなっており、県内においても、平成 28 年に 1 名がつつが虫病により亡くなっています。疑わしい症状が出た場合は、早期に医療機関を受診し、行動歴等を医師へ伝えてください。

### 【平成 29 年に発生した患者の情報】

症例	診断日	年齢	性別	推定感染地域	池間島での行動歴	推定感染地	刺し口	備考
No. 1	H29. 6. 21	50代	男性	宮古島市	有	畑	腹部	
No. 2	H29. 7. 4	60代	男性	宮古島市	有	海岸	右ひざ 内側部	
No. 3	H29. 11. 21	20代	女性	宮古島市	有	草むら	右胸部	
No. 4	H29. 12. 7	60代	女性	宮古島市	調査中	調査中	右上腕部	入院中
No. 5	H29. 12. 14	80代	女性	宮古島市	有	調査中	右胸部	入院中

### 【つつが虫病とは】 4 類感染症

つつが虫病は、つつが虫病リケッチア (*Orientia tsutsugamushi*) を起因病原体とし、山野に入り病原体を保有するダニ (ツツガムシ) に刺されて感染する。ヒト→ヒト感染はない。

臨床症状：発熱 (38℃以上)、リンパ節腫脹、発疹、刺し口。

潜伏期：5～14日

治 療：テトラサイクリン系の抗生物質等による治療。一般に予後良好。

発生状況：我が国では北海道を除く全都府県から患者が報告され、ここ数年は年間 300～400 人の患者が毎年報告されている。

**【予防】：**

- ・山野に入る際には、肌の露出を少なくし、防虫スプレーを適宜使用する。
- ・むやみに地面に腰を下ろしたり寝転んだりしない(座る時は敷物を使う)。
- ・脱いだ服を草むらに放置しない。
- ・帰ったらすぐに入浴(シャワー)する。
- ・着用した服は使い回さず、その日で洗濯する。
- ・山林や野原に立ち入って 1～2 週間後発疹や発熱の症状が現れたら、すぐに医療機関で受診する。

**【参考】 県内のダニ媒介感染症発生状況**

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017 (12.18 時点)	合計
つつが虫病	1		1	2		1	2	4	10	5	26
日本 紅斑熱			1	1	1					1	4
SFTS									1		1

※2008 年の「つつが虫病」1 例は県内初報告例

※2010 年の「日本紅斑熱」1 例は県内初報告例

※2016 年の「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」1 例は県内初報告例

**参考 URL（沖縄県感染症情報センターHP より）**

<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjohou/documents/2012tutugamusi.pdf>